

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

札幌市

（地域における現状・課題）

現在の部活動数の存続を前提とした場合、運営・指導の担い手の確保について、量的・質的な難しさがある。また、中体連等の主催する公式大会における、指導者や参加単位等の枠組みとの整合を図る必要がある。活動に当たっての生徒の傷害保険について、現在の制度上、運営主体が異なる平日部活動と休日部活動とでそれぞれ保険への加入が必要となるため、保険料負担の増加についても懸念される。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：リーフラス株式会社

活動場所：実践研究校5校（中学校）

指導者：運営団体からの派遣指導員

移動手段：徒歩

責任主体：リーフラス株式会社

活動種目：陸上、ソフトテニス、卓球、サッカー

会費等：0円

保険：受益者負担なし

（実践研究の成果）

- ・モデル事業実施校におけるアンケートでは、100%が事業の継続を希望していた。
- ・子どもたちの多様な活動機会確保としての意義は大きい。
- ・モデル事業として5校では事業が成立したが、全市の部活動に展開していくのは容易ではない。

（運営体制図）

